

パルシステム東京 震災復興支援基金（パル未来花基金）申請書（記入例）

※フォーマット（記入用紙）は3ページ以降です。次ページの「補足事項」を参照の上、ご記入ください。

	受付日	確認者	受領・承認印	受付番号
事務局 使用覧	/	㊟		

申請日	〇年3月1日
①代表組員名	生協 パル子
②代表組員番号	10000001
③代表組員連絡先（電話）	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 / 携帯電話：090-△△△△-△△△△
④代表組員連絡先（メール）	paltokyo-seisaku@pal.or.jp
⑤連絡が取りやすい時間帯	月～金の10時～15時頃まで
⑥副代表者	東京 花子
⑦会計責任者	根釧 太郎
⑧グループ名	パルボラチーム
⑨グループ人数	5人（内パルシステム東京組員 3人）
⑩支援対象者・エリア	福島県内
⑪企画開催地	東京都稲城市
⑫企画名称	福島の子供たちの保養企画
⑬企画の目的	福島では、今もなお高い放射線量に子どもたちがさらされています。放射線量の少ない環境で、のびのびと自然と触れ合う機会を提供し、子どもたちの日頃のストレスを解消してもらいたいと考え、保養企画を計画しました。
⑭実施予定期間	〇年11月21日（土）～ 〇年11月23日（月）
⑮助成希望金額（A）	352,240 円
⑯申請した企画の費用総額	411,240 円

⑰具体的な内容とスケジュール ※「実施予定内容」には誰がどこで何をどのように実施するかを記載する

開催予定月	実施予定項目・内容
○年9月中旬 10月中旬～ 10月下旬 11月21日 11月22日 11月23日	企画詳細を決定する（宿泊場所の手配・調査など） HPや福島県の現地の知人を通して参加者の募集を行なう。 企画の細かな準備（手配や備品の買い揃えなど） 福島から子どもたちの受け入れ（福島～東京間高速バス）、○○自然公園でレクリエーション（宝探しなど）を行う。東京に宿泊 ○○キャンプ場にて、講師による生き物観察、屋外バーベキューを行う。東京に宿泊。 ○○公園アスレチックで外遊び。終了後、帰路（東京～福島間高速バス）

⑱申請に至る背景（どうしてこの活動をはじめたのか）

東京で開催されていた○○会に参加した折、福島から参加した方とお話を聞く機会があり、今もなお放射線に気を遣う日々が続いていること、そしてそれが大きなストレスとなっていることを知った。また、子どもたちをのびのびと遊ばせることが出来ず、どこかに連れて行ってあげたいが、生活するだけでも困難な状況にあると聞いた。そこで友人らと自分たちで何かできないかと話し合い、今回の保養企画を考えました。

⑲期待される成果（この活動を通じてどのような成果が得られるか）

放射線量の高い地域に住んでいる子どもや親たちのストレス軽減につながるだけでなく、活動を行うことで東京に住んでいる自分達を含む、県外の人たちが原発や福島の現状についての理解と関心を高めることができます。そして、そこから新しい支援が広がることを期待しています。

⑳継続性の有無（今年度の活動終了後、この活動を継続して実施する予定があるか）

今回の企画を実施するために、○○会で出会った福島の方々にもご協力をいただいたことから、現地とのネットワークができました。このネットワークを活かし、来年度以降も、引き続き、保養企画を実施していきたいと考えています。

㉑今回申請の活動に対する助成金の有無や、他からの財源確保の可能性

「虹とハト募金」から5万円の助成を受ける予定です。

㉒希望申請額から減額になった場合の対策

助成金がいただけない場合、あるいは、減額等になった場合については、参加費の調整やグループメンバーや知人に仲間になってもらいカンパを募る予定です。ただ、規模縮小して実施することになるかもしれません。（イベントを少なくする、日帰りにするなど）